

加曾利貝塚博物館友の会主催

講演会

2011.12.3(土)

富山県富山市

おだけ 小竹貝塚の調査



厚さ最大180cmのヤマトシジミの貝層

6000年前の
低湿地性貝塚

日本海側
最大級?!

【町田先生からの予告】

財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所では、2009年と2010年に“日本海側最大級”と称される小竹貝塚（縄文時代前期の貝塚）の発掘調査を行った。

調査の結果、低地部では数少ない竪穴住居、最大180cmにも達するヤマトシジミの貝層・埋葬状態が明らかかな事例では縄文時代前期で国内最多となる71体の埋葬人骨などを検出し、居住域・生業域・墓域の3要素をひとつの遺跡で見つけることができた。また、低湿地性貝塚であることから台地上の遺跡では残存しにくい多種多様な遺物が出土し、縄文時代前期の生活復元に大いに役立つものと考えられる。

この発表では、竪穴住居・貝層・埋葬人骨を中心に調査成果を紹介し、数少ない日本海側における貝塚の一樣相を提示したい。この際、加曾利貝塚博物館での報告であることをふまえ、可能な限り加曾利貝塚の遺構・遺物と比較検討も行い、より身近に小竹貝塚の様相を感じていただきたい。

講師：町田賢一先生（財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 調査課主任）

開催日：12月3日（土）

時刻：13時30分～16時00分

会場：加曾利貝塚博物館・多目的室

（千葉市若葉区桜木8-33-1、モノ・桜木駅下車徒歩約15分）

定員：40名（先着・事前申込不要・非会員参加可）

資料代：実費（300円程度）



埋葬人骨が続々と・・・
マスコミで大きく報道された。

【問合せ先】

加曾利貝塚博物館友の会事務局

電子メール：kasoritomo☆gmail.com

（☆を@に変えて送信願います。）